

# 気候が変わると 何が変わる？

ゲリラ豪雨や  
大型台風が  
増えたような…



暖かい冬は  
助かるけれど、  
夏の暑さは、  
どうにかなら  
ないかしら



学校では、熱中症  
対策で、運動会が  
半日になったり、  
夏休みのプール  
がなくなったり、  
教室にエアコンが  
設置されたりして  
いるわね

川の氾濫には要注意だ！

大雨が降りそうな時は、  
スマホの雨雲レーダーで  
雨の降り方をチェックします

もう、暑さを気力で  
乗り越える時代  
じゃないね



どこでもエアコンが必須  
になりましたね。二重  
サッシなどのリフォーム  
もオススメです！

公共交通が  
計画運休を  
するかもしれ  
ず、気をつけな  
ければ



気候の変化で、お客さまの  
ニーズが変わりますので、  
食料品や生活用品の品ぞろえや  
販売時期も変わってきました

特に  
子供は、  
熱中症が  
心配ね

水分補給を  
しっかり  
しましょうね

冬に海の水が  
冷たくならなくて、  
海苔の養殖が  
できないんだ



海の水が暖かくても  
養殖できる海苔の  
品種が早く  
開発されてほしい！

暑くなってお米が  
とれなくなって  
きています



暑さに強い品種の開発が進め  
られていますが、売れないと作  
り続けられないのも事実です  
昔のノウハウも役に立たず、  
厳しい時代を迎えています



気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第5次評価報告書では、すでに気候変動は自然及び人間社会に影響を与えており、今後、温暖化の程度が増大すると、深刻で広範囲にわたる不可逆的な影響が生じる可能性が高まることが指摘されています。

さらに、将来、温室効果ガスの排出量がどのようなシナリオをとったとしても、世界の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて気候変動の影響のリスクが高くなると予測されています。

愛知県気候変動適応センターでは、令和元年度、県民

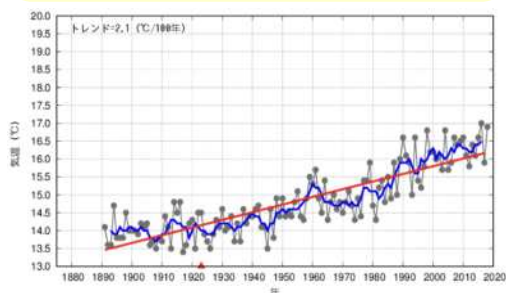
の皆様を対象としたアンケート調査、ワークショップ、各種団体へのヒアリングなどを行い、気候変動に伴う暮らしや身の回りの変化・影響についてお聞きしました。

集中豪雨の増加、台風の大型化、夏の暑さなど、気候・気象の変化を肌で感じ、自然災害、熱中症、農作物の品質低下、動植物の生息域の変化など様々な影響が既に生じていると感じてみえるようです。

このような変化・影響は、今後、長期にわたり拡大するおそれがあり、私たち一人ひとりの生活の中で、気候変動への適応が求められてきています。

## これまでの気温

名古屋では、年平均気温は100年あたり2.1℃高くなっています。  
この変化には、地球温暖化に加えて、都市化やその他の自然変動の影響も含まれていると考えられます。

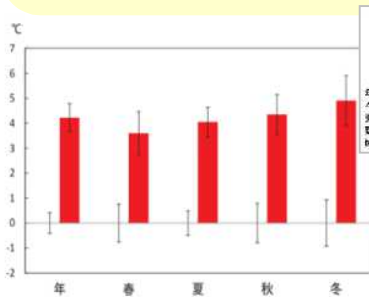


名古屋地方気象台の年平均気温の経年変化

出典：気候変化レポート2018 ー関東甲信・北陸・東海地方ー，気象庁。

## これからの気温と降水量（予測）

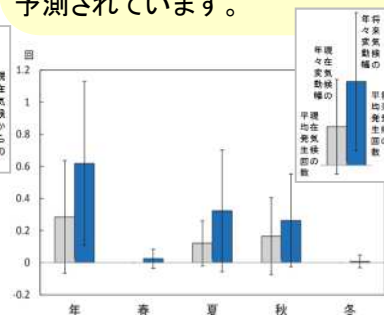
愛知県内平均による平均気温の現在気候(1980～1999年)と将来気候(2076～2095年)の差の予測では、平均気温は約4℃上昇すると予測されています。



愛知県の平均気温の将来気候における変化

出典：愛知県の21世紀末の気候、名古屋地方気象台。

愛知県内平均による1時間降水量 50mm以上の発生回数の将来気候における変化の予測では、年間の回数は増加すると予測されています。



愛知県の1時間降水量 50mm以上の回数の将来気候における変化

## これからの気候変動とその影響

日本では世界より早いペースで気温が上昇しているほか、異常高温の出現数の増加、短時間強雨や大雨の頻度の増加など、既に気候変動が生じており、さらに今後気候変動による影響のリスクが高くなると予測されています。



出典：愛知県の気候変動適応

## 気候変動に関する2つの対策

気候変動には、温室効果ガスの排出を抑える「緩和」と、気候変動の影響に備えて、社会の仕組みや一人ひとりの生活のあり方を変える「適応」の2つの対策が必要です。緩和策と適応策、どちらも取り組んでいきましょう！



出典：愛知県の気候変動適応

## 私たちができる 気候変動への適応策（例）

### ①自然災害に備えよう！

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。

災害に備えるために、ハザードマップや避難場所・避難経路を調べておくことも大事です。



### ②熱中症を予防しよう！

地球温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。

暑い日は水をこまめに飲んだり、外に出るときは帽子をかぶったりして、熱中症を予防しましょう。



### ③水を大切に使う

雨が降る日が徐々に減る可能性があります。普段から水を大切に使いましょう。

### ④虫刺されに気をつけよう

気温上昇によりデング熱という病気を広める蚊の生息域が北上していますので、注意しましょう。

### ⑤適応策は沢山あります

気候の変化に意識を向けて、いろいろな適応策を検討・実践していきましょう。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム